

函館工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	中国語
科目基礎情報						
科目番号	0346		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	物質環境工学科		対象学年	5		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	相原茂『改訂増補 必ず話せる 中国語入門』（主婦の友社）。『クラウン中日辞典 小型版』（三省堂）2800円 中国語をモノにしたいなら『中日辞典』（小学館）7000円 ※上記どちらかの辞典を必ず買うこと					
担当教員	泊 功					
到達目標						
1.発音、ピンインをマスターする。 2.基本文法と基本単語を理解できる。 3.日常の会話表現を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	標準的な発音ができ、ピンインを読んで書ける。		標準的な発音ができ、ピンインを読める。		標準的な発音も、ピンインも読めない。	
評価項目2	基本的な文法事項と単語を理解して、会話に応用できる。		基本的な文法事項と単語を理解できる。		基本的な文法事項と単語を理解していない。	
評価項目3	日常に多用される会話表現を理解し、会話に応用できる。		日常に多用される会話表現を理解できる。		日常に多用される会話表現を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達目標 (D-1) 函館高専教育目標 D						
教育方法等						
概要	・貿易関係、中国製品、歴史問題など日本と中国の話題は事欠きません。この科目では現代中国語を学ぶことを通して、現代の国際社会や中国の歴史的背景を理解し、同時に互いの文化を尊重できるような価値観を養います。 ・プラクティカルな目標としては、ピンインをマスターして初級の文法と会話を身に付けます。					
授業の進め方・方法	発音、会話を中心に練習し、基本会話へと進みます。教師の範読、CDによるディクテーションなど音声的な練習を主とし文法を従とします。あと日常会話での決まり文句を中心に練習し、暗唱します。					
注意点	中国語は漢字を見て何となく意味のわかることもありますが、当然日本語とは異なる外国語です。よって外国語学習であることを意識して、発音・文法を学んで欲しい。毎回の授業では必ず辞書を用意すること。多聴、多説、多看、多写に努めて下さい。辞書は毎回持ってきてください。 (ほとんどの人にとって初めて習う外国語と思いますので、最初のころは復習、慣れてきたら予習・復習が必須です。家庭学習を確認するための小テストや、文法的なワークを含めたレポート課題も実施します。できるだけ中国語に多く触れることによって、基本的な中国語コミュニケーション能力を養いましょう。希望者は高専で検定試験（準4級～1級）も受験できます。 JABEE教育到達目標評価：定期試験80%（D-1）、課題20%（D-1）					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	1 PART1 中国語の発音をマスター		・声調、母音、子音のしくみを理解する。	
		2週	声調、基本母音		声調、基本母音が正しく発音できる。	
		3週	子音、変調		子音、変調を正しく発音できる。また、ピンインを見て発音できる。	
		4週	2 PART2 中国語の基礎をマスター ・中国語の基本 ・数と助動詞		・基本的な文法事項を理解できる。 ・基本的な語彙を習得する。	
		5週	・補語		・基本的な文法事項を理解できる。 ・基本的な語彙を習得する。	
		6週	・修飾語		・基本的な文法事項を理解できる。 ・基本的な語彙を習得する。	
		7週	・構文パターン		・基本的な文法事項を理解できる。 ・基本的な語彙を習得する。	
		8週	中間試験		これまで習った内容を理解できる。	
	2ndQ	9週	3 PART3 中国語の基本フレーズ ・こんにちは。ようこそ。はじめました。 ・ありがとう。ごめんなさい。 ・別れの言葉。		・基本フレーズを文法的に理解しつつマスターする。	
		10週	・私は日本人です。		・基本フレーズを応用して、中国語で簡単なコミュニケーションがとれる。	
		11週	・名前を聞こう。どこに住んでいるの？		・基本フレーズを応用して、中国語で簡単なコミュニケーションがとれる。	
		12週	PART4 必ず役立つフレーズ ・これは何？ ・彼は誰？ ・天壇までお願いします。		・やや複雑なフレーズをマスターして表現の幅を広げる。 ・文法的な知識を確かなものにする。	
		13週	・すみません、トイレはどこですか？		・やや複雑なフレーズをマスターして表現の幅を広げる。 ・文法的な知識を確かなものにする。	
		14週	・歌がとても上手ですね。		・やや複雑なフレーズをマスターして表現の幅を広げる。 ・文法的な知識を確かなものにする。	
		15週	期末試験		これまで習った内容を理解できる。	
		16週	答案返却・解答解説		・間違った箇所を理解できる。	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	80	20	0	0	0	0	100	
基礎的能力	80	20	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	